

社会保険未加入対策の推進に関する申し合わせ

建設産業においては、建設投資の急激かつ大幅な減少に伴い価格競争が激しくなり、本来負担すべき雇用、医療、年金保険の法定福利費を適正に負担せずに低価格競争を行う企業や事業者が存在しています。その結果、技能労働者の離職や若年入職者の減少が進み、真面目に技能労働者を遇する企業ほど不利になり、技能労働者の確保と、事業者間の公平で健全な競争環境を構築するために、社会保険未加入問題は、今日もはや避けては通れない重要な課題となっています。

こうした状況に鑑み、本日、建設産業に関わる関係者が一同に会して、社会保険未加入対策推進協議会を設立いたしました。

私たち行政・元請企業・下請企業・建設労働者といった関係者は、これを機にそれぞれの立場で社会保険加入に向けた取組を計画的に着実に進めるとともに、社会保険加入の前提となる法定福利費の原資の確保に向け、発注者から下請企業まで適正に支払われるようそれぞれの立場からの取組を行うなど社会保険未加入問題への対策を総合的に推進します。そのため、関係者が一体となって、社会保険未加入は許さないとの固い決意をもって、社会保険加入を徹底することを申し合わせます。

平成24年5月29日
社会保険未加入対策推進協議会